

■やまがたカーボンニュートラル大使 意見聴取結果（主な意見を記載）
 （第4次山形県環境計画中間見直し・カーボンニュートラルやまがたアクションプラン改定）

やまがたカーボンニュートラル大使一覧（令和7年度） 7団体

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ○山形東①「のりを最後まで使えるデザインチーム」 | ○村山産業「カーボンニュートラルについて考える会」 |
| ○山形東②「mmy &」 | ○長井「探求科学部」 |
| ○山形東③「野草から作る代替コーヒーチーム」 | ○加茂水産「水産生物部」 |
| ○山形工業「機械技術研究会」 | |

皆さんが好きな、山形県の環境について教えてください。

- 月山、蔵王、鳥海山など山々。 ※月山は7団体中5団体が挙げている
- 豊かな自然で水、食べ物（果物、米、山菜、海の幸）、空気がおいしい。温泉。
- 美しい景観（雪景色、樹氷、山、海）。四季がはっきりしている。

やまがたカーボンニュートラル大使の活動をやってみたいと思ったきっかけは？

- カーボンニュートラル、地球温暖化対策に貢献したいと考えたから（大使活動が自分たちの探究内容に合致）。
- 環境問題、再生可能エネルギーなどに興味があるから。

山形県の環境に関する計画や取組みについて、皆さんが期待することを教えてください。

- 森林など今ある自然環境の美しさを維持・保全し、次世代に継いでいけるような取組みを継続的に行ってほしい。
- 省エネ住宅の普及は、山形県の住みやすさという観点からもっと進めていくべき。
- 環境に対する活動を県民にもっと広めて、県民が一丸となって協力・参加していただけるような体制となるとより良い。

特にカーボンニュートラルについて、皆さんご自身の経験で、見聞きしたこと、感じたことを教えてください。

- 会社間でCO₂排出量を売買する制度について、環境問題を金で解決するのは違和感。
- 植物を利用した燃料を使うことで、CO₂排出量をゼロに近づける仕組みを知り、例えば山形でも豊富な農産物を利用できないかと感じた。
- CO₂の吸収源は森林のほかに海のブルーカーボンもあり、海の環境も守ることで地球温暖化防止に繋がるというのを知り納得した。

カーボンニュートラル実現に向けて必要な取組みは、ズバリ何だと考えますか？

- 公共交通機関をもっと活用する。再生可能エネルギーを最大限活用する。
- 大切なのは「一人一人の行動を変えて行くこと」。より多くの人にカーボンニュートラルについて知ってもらい、取り組んでもらうことが必要
 （例えば）公式SNSフォローキャンペーンの開催などより情報を受け取りやすく
 なるような環境整備、水筒制作などの体験活動 等